



地域医療を見据えた
世界最高水準の病院へ



新しい外来診療棟3階

新しい外来診療棟のオープニングセレモニーを開催



7月6日、櫻田義孝文部科学副大臣、森田健作千葉県知事など、200名の来賓をお招きして開催しました。



千葉大学
医学部附属病院長
やまもとしゅういち
山本 修一

この外来診療棟の構想は約10年前に始まりました。病院内のさまざまな職種のスタッフが20年先の医療を想定し、熱い議論を交わしてきた成果です。

もちろん、病院は設備や環境も大事ですが、そこで診療に当たる「人」こそが主役で

す。われわれ職員は一層の研鑽に励み、「千葉大学病院は外来が新しくなっただけではない、その中身も素晴らしくなったね!」と、ご評価いただけるよう頑張ってます。

今年、創立140周年を迎えた千葉大学病院は「地域医療を見据えた世界最高水準の病院」の実現に向け、たゆまぬ努力を続けてまいります。引き続き、温かいご支援、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。



1階のホスピタルストリートでセレモニーを開催



山本病院長(写真右)が櫻田文部科学副大臣に新しい外来診療棟を案内

Opening Ceremony

セレモニー中に演奏を披露した、あのはな音楽部(千葉大学学生オーケストラ)



「明るい外来診療棟は病気と闘う勇気が出る」と祝辞を述べる森田県知事



外来で新サービスがスタート 快適な受診環境と ハートフルな対応をめざして

新しい外来診療棟は、患者さんがスムーズに受診できるよう、
新たな設備やサービスを取り入れています。

総務課広報係の
渡邊亜里紗が
ご案内いたします

受付

総合案内

コンシェルジュが笑顔で皆さまを迎え、ご案内しています。「〇〇の場所がわからない」「各種サービスについて知りたい」など、お困りのときは気軽にお声がけください



笑顔でテキパキと
対応していて、
心強いです

診断書等 受付交付 窓口

専用窓口の設置により、各種診断書・
証明書等の受付および交付がスムーズになりました。

- ① 総合案内の「番号札発券機」で番号札を取ります
- ② 「文書申請書 兼 引換書」を記入します
- ③ 番号が呼ばれるまで4番窓口の前でお待ちください



再来受付機

再来受付機の運用も新しくなりました。診察券を入れると受診票が印刷されます

- ※初診の患者さんは
- ① 総合案内の「番号札発券機」で番号札を取ります
 - ② 「診療申込書」を記入します
 - ③ 番号が呼ばれるまで1番窓口の前でお待ちください



正面玄関の近く
だけでなく、各フロアにも
設置されているので
便利です



受診票

受け取った受診票は、クリアファイルに入れて持ち運びます。新たに、診察の順番が近づくと、携帯電話にメールでお知らせするサービスも始まっています。ご希望の方は、受診票のQRコードを読み取って登録してください

ニュース & トピックス

NEWS & TOPICS

『なのはな文庫』が みなみ棟に移転しました (9月6日)

絵本・マンガ・文庫本など約15,000冊の本の中から、どなたでも借りることができる『なのはな文庫』が、みなみ棟1階 小児科外来横(旧:形成・美容外科外来)に移転しました。どうぞお気軽にご利用ください。
◆貸出日: 水曜日 10 ~ 12時・土曜日 14 ~ 16時



笑顔のスタッフが、皆さまをお出迎え

楽しみながら元気になれる 病院食を目指しています

疾病や治療により、食欲が低下しやすい患者さんにも美味しく楽しい食事を提供するため、見直しを行っています。例えば、ご要望の多いメニューの導入、地産地消の食材の使用、食材の良さを生かした調理法、洗練されたデザイン食器で食環境の向上に努め、大好評いただいています。



9月には要望の多かった“焼きそば”を導入

新しい外来診療棟で初めて(9月30日) 多数傷病者受入訓練を行いました

交通事故が発生し、多数の患者さんが運び込まれた想定のもと、患者さんの緊急度ごとに治療の優先順位を決めて行うトリアージ訓練を実施。新しい外来診療棟は、1階の診察室と待合に医療ガス設備や災害時対応のロビーチェアを配置するなど、災害時にも活躍します。



重症の模擬患者を受け入れるスタッフ

休憩

休憩スペース

2階から5階まで、各階に休憩スペースが用意されています。木のぬくもりが心地いい空間で、ブラインドは24時間自動制御されており、直射日光を遮ります。なお、各階には自動販売機を設置しています



開放感あふれるスペースで、ちょっとひと休み。快適にくつろげますね

カフェ「エ・プロント」

「病院内ですので、車椅子やベビーカーのお客様も広く使えるよう配慮した店舗となっています。どうぞ、ご利用ください」と店長の佐藤好美さん



店内にはウォーターサーバーを設置。薬を飲むための水（または白湯）が必要な方はご利用ください



診察

待合スペース

保険証確認スタッフが患者さんの保険証を外來待合で事前確認させていただきます。その後、待合ディスプレイに番号が表示されたら、中待合に移動してください



待ち時間が短縮されるので、うれしいですね



「私たちが、診察を待つ患者さんを一人ずつまわって、保険証を確認させていただきます」と保険証確認スタッフ

会計

診察後は、受診票を1番窓口へ提出。会計番号券に記載された番号がディスプレイに表示されたら、自動支払いコーナーでお会計を済ませます



患者さんのための

Q&A

Q 食物アレルギーは、血液検査でわかりますか？

A 血液検査では、80種類以上の食物やその成分に対する抗体（特異的IgE）を測定することができます。しかし、この結果が陽性であっても、食物アレルギーとは限りません。

また、同じ検査結果でも、年齢等により症状が出る場合と出ない場合があります。大豆・ゴマ・

甲殻類アレルギーなどでは、この検査の結果は、あまり参考にならないことが知られています。

このため小児科では、血液検査や皮膚テストを参考にしながら、原因となる食物を実際に食べて症状を観察する「経口負荷試験」を行うことで、食物アレルギーの正しい診断を目指しています。

<食物アレルギーに似た症状>

チーズ・ワイン・鮮度の悪い青魚など、ヒスタミンやアセチルコリンといった血管に働きかけるような物質が多く含まれる食品は、アレルギーと似たような症状が出る場合があります。

<食物アレルギーと診断されたら>

原因となる食物の除去を行います。また、ご家庭や保育園・学校などでの誤食時の緊急対応を相談します。

乳幼児期の食物アレルギーは、小学校に上がる前に治ることが多いですが、治りにくい場合には、原因となる食物を計画的に摂取して症状を起しにくくする「経口免疫療法」を行っていますので、ご相談ください。



いのうえゆうざぶろう
小児科 医師 井上祐三朗

日本で初めて！ 真菌症を治療する専門外来を設置

真菌とはカビのことで、免疫力が低下した患者さんの体に入り込み、感染症を起こしてしまふことがあります。当院では10月1日、日本で初めての「真菌症の専門外来」を設置しました。

いま、増えている真菌症とは？ 意外と身近な感染症です

真菌とは、空気中に漂っているカビのことで、身近なものですが、免疫力が低下した人は誰でも感染する可能性があります。

真菌症には大きく2種類あり、1つは皮膚で繁殖した「表在性真菌症」といって、有名なのが水虫です。もう1つが、肺や肝臓、腎臓、脳など内臓で繁殖した「深在性真菌症」で、これが今、とても増えています。結核の後などに生じた肺の空洞に、アスペルギルスという真菌が繁殖してしまうこともあります(写真)。

こうした背景には、高齢化や生活習慣病により、免疫力が低下している人が増えていることが挙げられます。また、高度医療の発展によって、さまざまな免疫抑制剤が登場したことも要因となっています。

新しい菌の感染症に対応し 最先端の診療も

当院では、わが国唯一の真菌症総合研究拠点である千葉大学真菌医学研究センターとともに、さまざまな機器や長年蓄積された研究データなどを診療に活かしています。

真菌は遺伝子が複雑で、薬剤耐性など新しい性質を持ったものが突然見つかることがあります。そこで、病院としては唯一、次世代シーケンサーという最先端の機器を用いて真菌の遺伝子解析を実施。真菌の新しい種類や特徴が見つかったときに、最適な治療方法を選択することができます。

これからも、より多くの真菌症の患者さんを診療することができるよう、新しい真菌への対応を進めるなど臨床医学の発展に貢献してまいります。



真菌医学研究センター 教授 亀井 かつひこ

写真下段 / 1981年に千葉大学医学部卒業、2003年4月より現職。趣味は城めぐり。お気に入りには松山城、県内では久留里城。

感染症管理治療部 部長・診療教授 猪狩 英俊

写真上段左 / 1988年に千葉大学医学部卒業、2014年4月より現職。趣味はランニングで、週2、3回3~5kmを走り込んでいる。

真菌医学研究センター 准教授 わたなべ あきら 渡辺 哲

写真上段右 / 1993年に千葉大学医学部卒業、2014年4月より現職。趣味は食べ歩き。最近は忙しくてなかなか回れないことが残念。

真菌症専門外来の予約：平日14時～16時45分(内線6712)

肺真菌症(肺アスペルギルス症)のCT画像

腹部側

右肺 左肺

豆のような粒=菌球

結核などにより生じた空洞

真菌症の疑い

痰や血液を検査し、真菌が発見される

CTで真菌症の状態を確認

手術、または、患者さんの状態によっては抗真菌薬で治療を実施

肺の菌球(菌のかたまり)をシャーレで培養し、顕微鏡で拡大したカビ(真菌)の画像

当院の病理検査に用いる顕微鏡は、偏光レンズにより通常では見にくいものを見ることができます

私のフイ

和太鼓がつむぐ地域の輪

私は検査部の血液検査室に所属しており、主に血液の性状を調べたり、白血球の形態に異常がないかを検査したりしています。特に白血球の形態検査は、白血病などのさまざまな診断に結びつくこともあるので大きな責任を伴いますが、その分やりがいがあります。

休日は和太鼓に精を出しています。きっかけは、小学校に入学して間もない頃、当時習っていた姉にならなげなくついていったことでした。それから無心になって叩くことの爽快感にハマり、どんどのめり込んでいきました。そんな和太鼓との付き合いも早や二十数年、気がつけば教わる側から教える側になってしまいました。年に一度の盆踊り。踊り手さんとともに築き上げる一体感。そんな、やくらの上で叩く太鼓は最高です。

今年も夏の盆踊りで叩きました

検査部 臨床検査技師 風見隆浩

働く現場日記

お困りの患者さんをサポートします 一人で悩まずご相談を

地域医療連携部 ソーシャルワーカー 舩田 梓

患者さんやご家族の皆さんが安心して適切な療養や介護生活が送れるよう、病気や障害によって生じる心理的・経済的・社会的問題の相談に応じたいです。患者さんによっては、医療費や介護のことで難しい状況にいる方もいらっしゃいます。そこで、私たちソーシャルワーカーが、医師、看護師と連携しながら、皆さんからの相談をお聞きし、一緒に考えています。相談に応じることで、患者さんに少しでも安心していただけることが、やりがいですね。医療や福祉に関するお困りごとがありましたら、お近くのスタッフにご相談ください。

●相談受付時間：月曜日～金曜日(祝日は除く) 9:30～16:30

地域医療機関や行政などと連携してサポートします

あとがき 今回は前回に引き続き、新しい外来診療棟を特集に取り上げました。玄関からの道順に戸惑われた方もいましたが、どの患者さんも診療室に来ていただけました。まずはひと安心です。患者さんの言葉からは、新しい外来診療棟への期待が感じられます。「病は気から」とも言います。「患者さんの期待をしっかりと受け止め、この新しい建物に魂を吹き込む」——これが私たち医療を提供する側の役割です。そんな思いを強くしました。(感染症管理治療部 部長 猪狩英俊)

【いのはなハーモニー】39号 発行日 2014年10月17日
発行 千葉大学医学部附属病院
〒260-8677 千葉県千葉市中央区玄昇1-8-1
TEL 043-222-7171 (代表) http://www.ho.chiba-u.ac.jp/
※ホームページでバックナンバーがご覧いただけます